

＜本時の目標＞ ・いろいろな植物について関心をもち、からだのつくりの特徴に基づいて分類することができることを見出す。

＜本時の展開＞（22/28 時間）

	指導項目 ＜学習内容＞	期待する生徒の学習活動 ＜生徒の活動＞	○発問 ☆支援 ・指導上の留意点 ＜教師の活動＞	評価 ＜評価方法＞【観点別】
導入		・資料にある植物について、仲間わけすることを知る。	・学習内容の確認をする。 ・資料を配付する。	
展開	植物を分類する視点 ・いろいろな植物を仲間わけする。 ・植物を分類していく視点は様々である。	・＜予想１＞で、自分なりの考え方で植物を仲間わけし、その結果をノートに書く。 ・＜予想１＞でどのような特徴に注目して仲間わけをしたか、その注目点をノートに書く。 ・グループになる。 ・＜予想１＞で書いた自分の考えを基にして意見を交流し、その結果をホワイトボードに書く。 ・グループの考えをノートに書く。 ・全体で交流する。 ・他のグループの話を聞き、グループの注目点と違った点をノートにメモする。	○＜予想１＞資料にある植物を自分なりに仲間わけしてノートに書こう。仲間わけができれば、どのような特徴に注目してつけたのか、注目点を書こう。 ☆ノートに書くときのイメージを板書し、どのように書いていいのかわからない生徒に例示する。 ☆仲間わけができない生徒に、花や葉など、比べるための視点をいくつか提示し、その視点にそって比べるができるようにする。 ○＜予想１＞を基にして、グループで仲間わけしてみよう。＜予想２＞にグループの考えと、注目点を書こう。 ☆ノートに書くときのイメージを板書し、どのように書いていいのかわからない生徒に例示する。 ・机間指導の中で各グループの意見を確認し、意見が違うものは黒板に貼るが、ほぼ同じ意見のときは１グループのみ黒板に貼るように指示をだす。 ○これから、考えを発表してもらいます。自分たちのグループと違った注目点はノートにメモしよう。その中で、「なるほど！」と思ったものは◎をつけよう。 ・黒板に貼ったグループに発表をさせ、全体で交流する。 ☆生徒の発表の注目点を指導者が板書することによって、メモを取り損ねても後からメモできるようにする。	いろいろな植物のからだのつくりに関心をもち、根の様子や葉脈などからだのつくりの特徴を比べようとしている。 ＜ノート＞ 【関心・意欲・態度】 気がついたことや考えたことを伝えようとしたり、周りの発表に対して、自分の意見と比較しながら聞こうとしたりする。 ＜観察、ノート＞ 【関心・意欲・態度】
まとめ	・理科では植物を分類する視点があり、①種子、②発芽の様子、③花卉の順に見る。	・植物の特徴のとらえ方は、様々であることに気づく。 ・植物を分類するときの視点について知り、ノートに板書を写す。 ・本時の振り返りをする。	・植物の特徴のとらえ方は様々であり、理科では分類するときの視点として①種子、②発芽した時の様子、③花卉の順に見ていることを伝え、板書する。	

＜本時の評価＞

	自然事象への関心・意欲・態度	自然事象への関心・意欲・態度
学習活動における具体的な評価規準	話し合いに意欲的に参加している。	いろいろな植物について関心をもち、からだのつくりの特徴に基づいて分類しようとしている。
A「十分満足できる」状況の具体例	気がついたことや考えたことを分かりやすく伝えようとしたり、周りの発表に対して、質問をしたりアドバイスをしながら聞こうとしたりしている。	いろいろな植物のからだのつくりに関心をもち、分類の基準を設定し、比べてみようとしている。
B「おおむね満足できる」状況の具体例	気がついたことや考えたことを伝えようとしたり、周りの発表に対して、自分の意見と比較しながら聞こうとしたりしている。	いろいろな植物に関心をもち、根の様子や葉脈などからだのつくりの特徴を比べようとしている。
C「努力を要する」状況の生徒に対する手立て	机間指導の中で比べるための視点（花や葉など）を示し、興味を持って学習に取り組めるようにする。	

＜板書計画＞

3節 植物の分類

1. 植物を分類する視点

植物のからだのつくりの特徴に基づいて
分類してみよう

＜予想1＞いろいろな植物を仲間わけしよう

ここに仲間わけする

注目点

・

・

・

＜予想2＞グループで仲間わけしてみよう

ここに仲間わけした
結果を書く

注目点

・

・

・

*他のグループが注目した点

ホワイトボード

注目点

・

・

ホワイトボード

注目点

・

・

ホワイトボード

注目点

・

・

理科で共通の仲間わけの視点

①種子

②発芽した時の様子（根，茎，葉）

③花弁